

大阪 あーかいぶず

「あーかいぶず（Archives）」とは、英語で公文書、文書館という意味です。

目 次

令和8年度下期企画展示開催のお知らせ「所蔵資料にみる昭和時代の 大阪府一戦後編一」	1
令和8年度古文書講座の開催、参加者募集のお知らせ	3
新たに登録した文書・資料類の紹介	4
公文書館事業の推移・利用案内	4

第69号 令和8年8月
大阪府公文書館発行



令和8年度下期企画展示 開催のお知らせ 「所蔵資料にみる昭和時代の大阪府一戦後編一」

2026[令和8]年は、昭和に改元された1926[昭和元]年から起算して満100年を迎える年であり、昭和を顧み、将来に想いを致し繋げていく大変意義深い機会であることから、国は「昭和の躍動や体験を発掘し、次世代に伝承していくための施策」、「昭和を顧み、昭和を学び、未来に切り開いていくための施策」、「『昭和100年』の機運を盛り上げていく施策」を積極的に取り組むとしています。

大阪府公文書館でもそれに呼応した企画展示を上期に引き続き下期においても開催します。



大阪府は、第二次世界大戦中、日本有数の工業都市であったため、空襲の標的となり、1945[昭和20]年3月と6月の大阪大空襲では、多くの市街地が焼失し甚大な被害がもたらされま

した。下期の展示では戦後期を中心に、昭和天皇の「戦後巡幸」と大阪府庁、大阪府章「千成びょうたん」の制定のほか、大阪の復興と経済成長などの様子を当館所蔵資料から振り返ります。

終戦後の日本は、戦災による大きな被害を受け、社会も混乱を極めました。都市の多くは空襲によって破壊され、住宅や工場、交通網などの社会基盤は深刻な損害を受けていました。また、食料や生活物資が不足し、多くの人々が厳しい生活を余儀なくされました。

こうした状況の中、昭和天皇は、戦禍に見舞われ疲弊した国民を激励するため、1946[昭和21]年2月から1954[昭和29]年8月まで、8年半をかけて全国各地（米国統治下の沖縄を除く、全46都道府県）を行幸されました。これは「戦後巡幸」と呼ばれています。中でも1947[昭和22]年6月4日から6月15日までの12日間、京都府・大阪

府・和歌山県・兵庫県を行幸され、この一連の巡幸は「関西行幸」と呼ばれています。

昭和22年6月の関西行幸から9年半が過ぎ、終戦直後にはほぼ廃墟と化していた大阪も、その後の経済復興により再び活気を取り戻しつつある中、1956[昭和31]年10月31日、大阪は再び昭和天皇・香淳皇后両陛下の行幸啓を仰ぐこととなりました。

両陛下は大阪府庁にお着きになると、二階バルコニーより一般奉迎者にお応えになられました。



(請求記号：H2-1998-167)

1945[昭和20]年8月、日本は、ポツダム宣言に基づいて連合国が占領。連合国軍が進駐し、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の指令・勧告にもとづき日本政府が政治を行う間接統治の方法がとられます。

大阪中心部の焼け残った建物は、進駐軍に接收されました。1951[昭和26]年9月、サンフランシスコで講和会議が開かれ、日本と48か国との間でサンフランシスコ平和条約が調印されました。これによって約7年間に及んだ占領は終結し、日本は独立国としての主権を回復します。



戦後初めての大阪府庁舎での国旗掲揚（サンフランシスコ講和条約調印の朝）昭和26年（請求記号：H2-0060-17）

1955～57[昭和30～32]年の「神武景気」と呼ばれる大型景気以降、日本は技術革新と大企業による設備投資を背景に経済成長をとげます。

この経済成長は1960年代の終わりまで続き、高度経済成長と呼ばれ、この間、大阪府でも10年間で200万人を超える人口増加がみられ、経済活動の規模も実質で3倍に膨張しています。

この経済成長のもと1966[昭和41]年に「大阪地方計画」が策定され、ニュータウンづくりや臨海工業地帯の造成、交通インフラの整備などの計画的な地域開発が進められました。1970[昭和45]年に開催された万国博覧会(EXPO'70)は、このような大阪発展の頂点といえます。



空撮：千里ニュータウン他 昭和39年～47年
(請求記号：H0-1999-1113)



千里ニュータウン S.58 頃
(請求記号：H0-2002-11)

しかし、重化学工業化の進展や人口増加にともなう居住環境の悪化や交通混雑、公害問題の発生など高度経済成長のひずみも顕著となっていきます。

1971[昭和46]年のドルショック、二度にわたる石油危機により大阪経済は大打撃を受けます。

また、1970年代後半からは人口増加率が低下し、従来の「人口増加」・「経済成長」の二つを前提とした計画の転換が必要となっていきます。

詳しくは館内展示にてご覧いただけます。

常設展示コーナーでは、公文書館開館の沿革やこれまでに刊行された出版物を紹介しています。

また、「大正の広重」と呼ばれた鳥瞰図(ちょうかんず)絵師・吉田(よしだ)初三郎(はつさぶろう)が描いた「大阪府鳥瞰図」(1932[昭和7]年)の原本資料については、制作後90年以上経過していることから、現在、専門業者による修復(クリーニング)を行っており、展示を休止しています。令和9年3月末にはご覧いただける予定です。ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いします。

- | | |
|-------|---|
| ■展示期間 | 令和8年10月1日(木曜日)から
令和9年3月29日(月曜日)まで
ただし、土曜日・日曜日・祝日、年末年始を除く
午前9時から午後5時15分まで(最終日は正午まで) |
| ■展示場所 | 大阪府公文書館展示室 |

令和8年度 古文書講座の開催、参加者募集のお知らせ

大阪府公文書館では、歴史的価値の高い公文書などを身近に感じていただくとともに、これらの資料を保存し、後世に引き継ぐことの大切さを理解していただくために、「古文書講座」を実施しています。

今年度は、はじめて古文書に触れる方を対象とした入門編の講座です。

当館所蔵の庄屋文書の中から、明治初期に作成された「地誌下調簿」を使用して、基本的なくずし字で書かれた村方文書を読み解きます。

皆様のご参加をお待ちしています。

◇日 時：令和8年9月28日（月曜日）
14時00分～15時30分
（受付開始：13時30分より随時）

◇場 所：大阪府庁本館5階「正庁の間」
大阪市中央区大手前2丁目1番22号
・Osaka Metro 谷町線・京阪電車「天満橋駅」3番出口から約500メートル
・Osaka Metro 谷町線・中央線「谷町四丁目駅」1A番出口から約370メートル

◇講 師：大阪府公文書館専門員

◇募集人数：35名
※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

◇参加費：無料

◇募集締切：令和8年9月11日(金曜日)必着

◇抽選結果及び参加証の送付時期

令和8年9月18日（金曜日）頃を予定

◇お申込み方法：

「大阪府行政オンラインシステム」又は「往復はがき」

＜大阪府行政オンラインシステムの場合＞

次のQRコードまたは下記URLからご応募ください。



<https://gpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/a3b8bd0a-a0af-4327-ba92-eee49f5c25a0/start>

＜往復はがきの場合＞

往信用はがきに次の(1)から(5)までの事項を記入のうえ、下記の宛先へ送付してください。

- (1) イベント名「大阪府公文書館 古文書講座」
- (2) 応募人数
- (3) 応募の代表者の氏名、郵便番号、住所、電話番号
- (4) 代表者以外全員の氏名
- (5) 講座の参加に際し、障がい等により配慮が必要な方は、その内容

◇宛先：〒540-8570（住所不要）

府民お問合せセンター「大阪府公文書館 古文書講座」

新たに登録した文書・資料類の紹介

大阪府公文書館では、令和7年度新たに2,278点の歴史的な文書資料類を登録しました（次ページの「歴史的な文書資料類の登録状況」表をご参照ください。）。)

◇大阪府行政文書 1,004点を登録
戦前の昭和14[1939]年度に作成された鉄道用地や道路用地など収用関係の資料を登録したほか、条例等の規定関係や審議会等に関する文書などの資料も登録しました。

◇大阪府公報 294点を登録

大阪府公報を登録するとともに、過去の公報の検索に役立つよう目次の登録を進めています。

◇大阪府等が作成した行政刊行物等の登録

大阪府議会会議録や様々な統計資料に加え、健康や商工、雇用・労働等に関する報告書など946点を登録しました。

公文書館 事業の推移

来館者数

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来 館 者 数	906 人	794 人	748 人

閲覧申出件数

内 訳	令和5年度	令和6年度	令和7年度
閲覧申出件数	138 件	151 件	109 件
複写申出件数	23 件	19 件	10 件

歴史的文書資料類の登録状況

分 類	累計登録点数	令和5年度	令和6年度	令和7年度
近世・近代資料	12,956 点	0 点	0 点	0 点
府行政文書	22,070 点	426 点	746 点	1,004 点
行政刊行物・官報・公報他	151,105 点	1,020 点	856 点	1,274 点
合 計	186,131 点	1,446 点	1,602 点	2,278 点

大阪府公文書館 利用案内

- ◆ **所在地** 大阪府庁本館1階（大阪市中央区大手前2丁目1-22）
- ◆ **閲覧時間** 月曜日～金曜日 午前9時00分～午後5時15分
※複写申請は閉館の30分前までにお願いします。
- ◆ **休館日** 土曜日、日曜日、祝日及び振替休日
年末年始（12月29日～1月3日）

大阪府公文書総合センター（公文書館及び府政情報センター）
開館時間 午前9時00分～午後5時15分



大阪府公文書館 『大阪あーかいびず』第69号 令和8年8月14日発行

〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目1-22（大阪府庁本館1階）／TEL06-6944-8374／FAX06-6944-6266

ホームページ <https://archives.pref.osaka.lg.jp/>（大阪あーかいびずの電子版も掲載しています）